

別紙2 金沢市立小・中学校情報活用能力体系表

目標		小学校第1～第2学年 ICTに親しむ	小学校第3～第4学年 学習ツールとしてICTに親しむ	小学校第5～中学校第1学年 情報モラルの必要性を踏まえた上で、 授業等でICTを活用する	中学校第2～第3学年 これまでの活用に加え、主体的にICTを活用する	
知識及び技能	基本	・コンピュータの起動や終了ができる ・充電・管理の仕方がわかる ・ファイルの呼び出しや保存ができる				
	入力	文字を書いたり、絵を描いたりできる	キーボードで文字を正しく入力できる	1分間で15文字以上を入力できる	1分間で25文字以上を入力できる	
	編集	・写真や動画を撮影し、活用することができる ・画像の拡大・縮小ができる ・文字の大きさや色を変えることができる		クラウドを用いた協働作業ができる		
	検索	・QRコードを読み取ることができる	インターネットで情報を検索できる	複数のキーワードを用いた検索ができる		
	発信	プレゼンテーションの仕方がわかる	相手や目的を意識したプレゼンテーションの仕方がわかる	効果的なプレゼンテーションの仕方がわかる	・Webページ等での発信・交流の仕方がわかる ・電子ファイルの運用（圧縮・パスワード化等）ができる	
思考力・判断力・表現力等	情報の整理	簡単な絵や図、表やグラフなどを用いて、情報を整理することができる	観点を決めた簡易な表やグラフ等を用いて情報を整理することができる	目的に応じた表やグラフ等を適切に選択・活用し情報を整理することができる	目的や状況に応じて統計的に整理することができる	
	考察	情報の大体を捉え、自分の言葉でまとめることができる	情報の全体的な特徴や要点を捉え、新たな考えや意味を見いだすことができる	情報の傾向と変化を捉え、類似点や規則性を見つけ、問題に対する解決策を考察することができる	目的に応じ、情報と情報技術を活用して、情報の傾向と変化を捉え、問題に対する多様な解決策を明らかにすることができる	
	表現・発信	分かりやすく表現することができる	相手や目的に応じ、自他の情報を組み合わせて適切に表現することができる	目的や意図に応じて複数の表現手段を組み合わせ、効果的に表現することができる	目的や意図に応じて情報を統合して表現し、プレゼンテーション、Webページやプログラミングによって、表現・発信、創造する	
	評価・改善	情報の活用をふり返り、良さに気づくことができる	自らの情報の活用をふり返り、手順の組み合わせをどのように改善すれば良いのか考えることができる	情報及び情報技術の活用をふり返り、改善点を論理的に考えることができる	意図する活動を実現するために手順の組み合わせをどのように改善していけば、より意図した活動に近づくのかを論理的に考えることができる	
学びに向かう力・人間性等	情報の尊重	人のつくったものを大切に、他者に伝えてはいけない情報を守ろうとする		情報に関する自分や他者の権利があることを踏まえ、尊重しようとする		
	ルール	コンピュータなどを利用する時の基本的なルールを踏まえ、行動しようとする	情報の発信や情報をやりとりをする場合にもルールやマナーがあることを踏まえ、行動しようとする	通信ネットワーク上のルールやマナーを踏まえ、行動しようとする		
	セキュリティ	生活の中で必要となる情報セキュリティを踏まえ、行動しようとする			情報セキュリティの確保のための対策・対応の必要性を踏まえ、行動しようとする 仮想的な空間の保護・治安維持のためのサイバーセキュリティの重要性を踏まえ、行動しようとする	
	健康	情報メディアの利用による健康への影響を踏まえ、行動しようとする				
	発信	発信した情報や情報社会での行動が及ぼす影響を踏まえ、行動しようとする			情報社会における自分の責任や義務を踏まえ、行動しようとする	